



～ ストアアプリとは?デスクトップアプリとは? ～



Windows 10 にはストアアプリとデスクトップアプリの2種類のアプリがあります。

デスクトップアプリ

従来の「ソフト」に該当するものです。

有料/無料の沢山のアプリが公開されており、システムに影響があるアプリケーションの開発も可能で、ストアアプリでは出来ないようなことが可能です。

しかし、それはウイルスやスパイウェアなども開発が可能なことを意味しています。

また、公式マーケットがなく、無料アプリの利用はユーザーの自己責任が基本です。

インストールもアンインストールもアップデートもアプリ毎に異なるので自由度が高い反面、管理に手間がかかるデメリットがあります。

Windows ストアアプリ

Windows 8 から登場した新しいタイプのアプリケーションです。

タブレット型の Windows での動作が想定されており、タッチ操作で利用しやすいように設定されているのが特徴ですが、デスクトップパソコンやノートパソコンでも動作しマウス操作にも対応しています。

また、アプリのインストールは Windows ストアから行います。

Windows ストアは Windows に標準で搭載されているアプリマーケットで、スマートフォンの iTunes の App Store や Android の Google Play と同じようなものです。

Windows ストアには有料・無料のユーティリティアプリやゲームアプリが公開されており、ボタンを押すだけで簡単にインストールが行えるメリットだけではなく、公開されているアプリは Windows ストアの審査に合格したものだけなので、一定の安全性や品質が保障されているのもユーザーにとってのメリットです。

その他にもアップデートも Windows ストアでボタン一つで行え、通知もされるのでとても便利です。

また、ストアアプリは制限が多く、システムに影響が大きいことはできない仕組みになっているので、セキュリティ的に安心できるのもメリットです。